

神谷 平*・右田清治**：岡田喜一先生の御逝去を悼む Taira KAMIYA and Seiji MIGITA:
Yoshikazu OKADA (1902-1984).



元長崎大学水産学部教授岡田喜一先生は去る昭和59年11月6日御逝去になりました。享年82歳でした。御葬儀は11月8日長崎市金堀町130番地のご自宅で、しめやかにとり行われました。

先生は、明治35年7月東京都神田須田町に生れ育った江戸っ子で、大正15年青山学院高等師範本科を卒業、翌年の昭和2年に農林省水産講習所の助手として勤められました。その頃、岡村金太郎博士の下で海藻を研究され、同9年に原色海藻図譜を出版されました。一方、淡水藻学者で有名な G. S. West に師事された武田久吉博士の所で顕微鏡で Desmids を見てから淡水藻に魅せられ、これが淡水藻研究の動機になったと聞いています。その後、農林省から研究費を受けて千島列島の湿地帯の Desmids を採集して報告されたのが始まりで、その一部は日本隠花植物図鑑(1939)にもなっています。当時、淡水藻の文献は非常に少なく、欧米の研究者より別刷を送ってもらって参考文献の蒐集をされました。現在、それらの文献は広瀬弘幸博士のお世話で神戸大学の所蔵になっています。

戦後、昭和22年に鹿児島水産専門学校の教授となられ、同25年には、「接合藻類特に Desmids の新しい分類」と題する論文が中井猛之進博士の賞賛するところとなり理学博士の称号を受けられました。その後その内容について御前講演されました。29年に長崎大学

水産学部の教授となられ、43年に停年退職、その後は玉木女子短期大学の教授として亡くなられるまで勤務しておられました。

また、先生は分類学者の特性である広い蒐集力と分類能力を発揮され、鹿児島大学在任中に蒐集されたイカの擬餌のコレクションは二千点におよびました。それらは水産学上も工芸的にも評価の高い品々であり、「薩摩鳥賊餌木考」として刊行され、貴重な資料を後世に残されました。

大学においては、長崎大学評議員、同附属図書館長として大学の運営にも尽力しておられます。学外においては、専門の学識、経験により長崎県内水面漁場管理委員会委員として14年間の永い間内水面漁業の管理、維持に努められました。また、先生は日本野鳥の会の創設以来の会員で、探鳥会の創始者の一人と聞いており、野鳥保護に強い関心を持たれ、長崎県鳥獣審議会々長、環境保全審議会鳥獣部会長を歴任され、九州における鳥獣保護に大きく貢献しておられます。その功績が認められ昭和48年4月勲三等瑞宝章の叙勲を拝授されました。さらにまた、先生は博学、多趣味の方で、とくに民芸、陶器には造詣が深く、長崎民芸協会常任理事、日本陶磁器協会長崎副支部長、文化財保護審議会委員、文化財専門委員をはじめ長崎市立博物館学芸委員、同歴史民俗資料館嘱託など多数の要職につかれ、また長崎県つばき同好会々長、日本あじさい会々長なども務められました。

以上のように、先生はその生涯を通じ、専門分野の研究はもとより、35年有余におよぶ大学教育で幾多の人材を輩出され、また社会における多方面の文化活動など、顕著な功績を残されました。

さて、先生の長崎大学在任中は水産学部に藻類の講座はなく、先生は増殖学第二講座に所属され、右田は増殖学第一講座に所属し、直接ご指導を受けたり一緒に仕事をする機会は少なかったが、ご退官後は右田の部屋にもよく立寄られ、フィルムの写真を見たり、四方山話をしたりして帰られました。「筑後川にチヌジノリが生育する」という情報も先生から承ったことで、最近右田は現地調査を行いその生育を確認しましたが、詳しい報告も今となっては出来なくなりました。

ここに、ありし日の先生を偲び、ご履歴や学外のご業績を紹介し、心から御冥福をお祈り申し上げる次第

です。

(* 愛知県安城市福釜町荒子95 愛知教育大学名誉教授)

(**長崎市文教町1-14, 長崎大学水産)

研究業績目録

- 1932 The freshwater algae of Botel Tobago Island or Kotosho, Formosa. Bull. Biogeogr. Soc. Jap. 3: 36-62. 4 pls.
- 1934 北千島所産のチリモ科植物に就いて。(予報). 生物地理 4: 351-356.
- 北千島に産するチリモに就いて. 水講研報 30: 107-115.
- The desmid-flora of the Northern Kurile Island. J. Imp. Fish. Inst. 30: 123-200.
- 1936 珍奇藻「提灯みどろ」と其近似種. 植動 4: 1205-1210.
- Notes on Japanese Desmids, with special reference to the newly found species. 1-4. Bot. Mag. Tokyo 50: 79-85. 1 pl., 255-259. 1 pl., 313-317. 1 pl., 471-473, 1 pl.
- 台湾に発見せられたカハノリの一種に就いて. 植研 12: 451-459.
- 日本新産の淡水藻類の数種に就いて 1-3. 同上 12: 272-278, 357-360, 679-682.
- 1938 日本産カワノリ科の藻類. 同上 14: 469-480.
- 台湾カワノリ新産地. 同上 14: 627.
- 択捉島産蘓藻の球形集団に関する一考察. 同上 14: 791-798.
- 1939 スガー(塩川)と其植物相に就いて. 同上 15: 48-53.
- 日本新産の淡水藻類の数種に就いて 1-4. 同上 15: 164-166.
- 日本産 *Gomphosphaeria* の新産地を報ず. 同上 15: 398-399.
- 朝鮮に発見せられたカハノリの一種に就いて. 同上 15: 449-452.
- 中部千島のチリモの研究 1. 新知島のチリモに就いて. 水講研報 33: 101-102.
- Desmids from the Sinsiru Island in the Middle Kurile. J. Imp. Fish. Inst. 33: 107-121.
- 1943 沖繩島のチリモ(Desmids)に就いて. 植物分類地理 13: 261-273.
- 1944 日本淡水産ウシケノリ属の一種タニウシケノリに就いて. 植研 20: 201-204.
- 1948 種子島の藻類資源. 大隅. 熊毛開発資料叢書. 8-11.
- 1949 *Oocystaceae* の一新属新種. 植研 24: 166-168.
- 1950 チスジノリ新知見 1. 同上 25: 145-147.
- チスジノリ新知見 2. 鹿児島水産専門研報 1: 148-150.
- 1952 *Micrasterias* 属の分類と日本及びその周域産の種類に就いて. 鹿児島大水産紀要 2: 93-140.
- 1953 *Euastrum* 属の分類と日本及び其の周域産の種類に就いて. 同 3: 193-244. 3pls.
- 水前寺苔の帰属に就いて. 植研 28: 17-20.
- A new classification of Conjugatae with special reference to Desmids. Mem. Fac. Fish. Kagoshima Univ. 3: 165-192.
- 1954 青島の海藻. 青島総合調査報告書. 67-71.
- 1954 日本産ヨツメモ属 *Tetraspora* について. 藻類 2: 57-60. (岡田喜一・神谷 平)
- 1956 オキチモズクの生活史について. 長崎大水産研報 4: 1-6. (岡田喜一・右田清治)
- 1957 On a new variety of *Aegagropila sauteri* found in Lake Yamanaka. Bull. Fac. Fish. Nagasaki Univ. 5: 41-52.
- 1970 日本産チリモ研究発達史. 淡水藻類 6: 5-8.